

南会津 のうりんニュース



平成22年12月(第151号)

今月の写真：高畑スキー場（南会津町伊南地域）

一年最後の月になりました。今年は皆様にとってどのような年でしたでしょうか。スキー場は安全祈願祭など準備万端で、本格的な降雪を待つのみです。多くの方々においでいただき、南会津地方に興味を持ってもらい再訪願いたいものです。

今月の内容：

- 今月のトピックス
 - ・県農業賞受賞祝賀会開催!!
 - ・「田んぼの学校」の全県「学びの収穫祭」!
 - ・Let's 特産化!
 - ・J A農産物品評会開催される!!
「アクの弱いわらび」を南会津各地へ広げよう!!
 - ・企業等の森林づくり
～社団法人福島県トラック協会～
- 今月のコラム
 - ・美しい季節に思う
- お知らせ
 - ・福島県狩猟免許のご案内!
 - ・あなたも認定農業者になりませんか?

平成22年12月22日発行 福島県南会津農林事務所

今月のトピックス

県農業賞受賞祝賀会開催!!



仲間から祝福の胴上げを受ける高木さん

勤 労感謝の日の11月23日、県内の農業部門で最も権威のある第51回福島県農業賞(新規就農部門)を受賞された高木正貴・純子さん御夫妻の受賞祝賀会が、只見町長、J A会津みなみ組合長、南郷トマト生産組合長、南会津農林事務所長ら多数の出席者のもと、「季の郷 湯ら里」(只見町)において、盛大に開催されました。(実

行委員長：南郷トマト生産組合只見支部 目黒辰也支部長)

高木さん御夫妻は、平成16年に南郷トマトを栽培するため、神奈川県から只見町へ移住し、1年の研修期間を経て、翌17年に就農し、今年でトマト栽培6年目を迎えます。

就農当時19aだったハウスの面積は、現在35aまで拡大し、その間、その年の優良栽培者を表彰する南郷トマト生産組合の表彰事業において、生産組合長賞(新人の部)やJ A組合長賞を受賞するなど、経験豊富なベテラン揃いの生産組合員の中にあっても、ひととき輝きを発してきました。また正貴さんは、トマト栽培だけでなく、地域の活動にも熱心で、小学校のPTA会長やスポーツ少年団の指導者を務めるなど、地域には欠かせない存在ともなっています。

そのような御夫妻の祝賀会とあって、大勢の方々が参加し、生産組合只見支部のヤングミセスの踊りや、組合の若手らで構成する研究部のダンスなどの余興が披露されるなど、祝賀会は大いに盛り上がりました。

そしてクライマックスとなる受賞者謝辞では、お子様からの感謝の言葉と花束贈呈で涙腺の緩んだ御夫妻から、「地域の方々をはじめ、町・J A・県などの関係機関・団体など、たくさんの方々が支えてくれたから、ここまですることができました。本当にありがとうございました。」と涙をにじませての言葉に、参加者一同「農業をやってき

てよかった」「新規参入者の受入れをやってきてよかった」「この地域に住んでいてよかった」と、皆、目頭を熱くしていました。

南会津が全国に誇る『南郷トマト』は、今年度、歴代2位の販売金額（9.8億円）の好成績を収めました。また、来年には栽培50周年の節目も迎えます。

組合員相互の固い絆と、生産組合・関係機関・団体の強固なスクラムで支えられている「南郷トマト」の快進撃は、今後もまだまだ続きます。

（南郷普及所）

「田んぼの学校」の 全県「学びの収穫祭」！

農 作業を通じて子供たちに農業への理解を深めてもらう「田んぼの学校」の1年間の活動の集大成として、「学びの収穫祭」が開催されました。全県を対象とした収穫祭は初めての企画で、県内の「田んぼの学校」に取り組んでいる小学校から220名ほどの児童が、11月19日、猪苗代町に集まって発表と交流を深めました。



劇「OH!マイ(米)ストーリー」で
田植えから稲刈りまでの取り組みを発表

当日は小春日和の穏やかな天気にも恵まれ、磐梯山の山裾に広がる雄大な昭和の森で「もりの案内人」から、農業用水の水源となっている森林の役割や森林環境の説明を受けました。その後、体験交流館に移動して、まず、猪苗代湖と全国有数の農業用水である安積疏水の歴史、役割を学びました。そして各校の田んぼの学校の活動報告を、それぞれ、劇、読み合わせなどいろいろな方法で発表されました。

このイベントには南会津管内の南郷第二小学校から11名の5年生が参加しました。南郷二小では春から田植え、草取り、稲刈りと「田んぼの学校」に取り組んできましたが、この内容を劇に仕立てました。田植えや稲刈りの様子を小道具を作

り、練習をしてみんなで発表したもので、他校にはない劇仕立てでよくまとめられた内容でした。

これに先立つ11月7日には南郷二小の「ヒメコマツ発表会」が行われ、同じ劇「OH!マイ(米)ストーリー」を学校関係者に披露したり、田んぼの学校で収穫した餅米で餅つきをして全校生で会食しました。自分たちが世話をした餅米を使った、つゆ餅や納豆餅に皆さん満足顔でした。

（農村整備部）

Let's 特産化! 「アクの弱いわらび」を 南会津各地へ広げよう!!

南 会津の特産品として、注目を集めている「アクの弱いわらび」の作付を郡内各地に広げるため、去る11月24日、南会津町藤生地区において「アクの弱いわらび植付講習会」を開催しました。

本講習会では、配布元である「藤生わらび生産組合」の組合員を講師に迎え、配布先である郡内3集落の栽培希望者が実際に掘り取りから植え付けまでの一体的な実技指導を受けました。組合員によるきめ細やかな指導により、参加者は皆栽培方法を習得し、各集落に戻り、早速植え付けを行いました。

わらびは生育に時間がかかりますが、他の作物に比べ手がかからないというメリットがあります。

高齢化が進む南会津では、今後、山へ採取にいけなくなることも考えられるため、住居近くの畑での山菜栽培は有効と思われます。

また、「アクの弱いわらび」はその名のとおり他品種との差別化が期待される品種であるため、プレミアム感のある商品として売り出すことが期待されます。

各団体では、今後、直売所等で地域特産品とし



わらびの地下茎を掘り出す参加者

て売り出したり、教育旅行等グリーン・ツーリズムの一環として採取体験をするなど、多彩なメニューを考えています。数年後、南会津郡内各地に広まり、「南会津ブランド」として流通・販売出来ることを期待しています。

(企画部・農業振興普及部・森林林業部)

JA農産物品評会開催される!!

第15回JA田島地区収穫祭（JA本店）、第15回JA下郷地区農業祭（JA下郷支店選果場）及び第15回只見地区JAまつり（JA只見支店）が11月3日に、それぞれ開催されました。

これに先ち、出品された農産物の品評会審査を農林事務所、役場、JA全農福島等の職員により行いました。

本年は4月中旬に大雪となり夏は記録的な猛暑となる等、気象変動の大きい年でした。



下郷地区での審査の様子

農家の皆さんは、農作物の管理には大変苦労されたことと思いますが、出品されたものは、いずれも品質が良く、土づくりや肥培管理に気を配られていることがうかがえました。形状や長さの揃い方や、ちょっとした傷など、わずかな差が入賞の分かれ目となりました。

特別賞の南会津農林事務所長賞は、以下の方々が受賞されました。

おめでとうございます。

田島地区収穫祭：サトイモ・児山寿子様

下郷地区農業祭：ダイコン・佐藤正之様

只見地区JAまつり：ダイコン・齋藤八千代様

農産物品評会への出品は、自分の栽培管理技術を確認する場でもあります。自分の出品物と他のものと比較検討することで、次年度はどこを改良すればよいかのヒントを把握できます。自分の持つ管理技術のベストを尽くした農産物を来年度の

本品評会に出品し、さらなる技術向上を目指してみましよう。

(農業振興普及部)

企業等の森林づくり ～社団法人福島県トラック協会～

下郷町において11月6日、社団法人福島県トラック協会による「トラックの森づくり」が行われました。

トラック協会では、地球温暖化の防止に積極的に取り組んでおり、その活動の一環として、CO₂を吸収・固定する森林の育成に取り組むこととしました。

そのため、県が森づくりの場所や方法などについてコーディネートし、関係者による協定書の締結及び下郷町中山の「中山みなんぱら」における「トラックの森づくり」が実現しました。

【調印式】

下郷町役場正庁において、トラック協会、中山区、下郷町、県による四者協定の調印式が行われました。

トラック協会は、下郷町（土地所有者）及び中山区（管理者）より森づくりのための土地を借り受け、3ヶ年にわたって広葉樹の植栽とその手入れを行うこととしました。

県は、トラック協会の森づくり活動について今後ともバックアップしていきます。



森づくりに精を出す皆さん

【森づくり活動】

午後からは、下郷町中山の「中山みなんぱら」において森づくり活動を行いました。

トラック協会の会員とその家族約80人と中山区長、町長など関係者を合わせて、100人を越える参加者により、ヤマザクラ、コナラ、トチなど6種類204本の広葉樹を植栽しました。

今後、今回の森づくり活動を契機に、南会津郡内において、企業等の森林づくりが活発に行われることを期待します。

(森林林業部)

今月のコラム 美しい季節に思う

→ この紅葉はすごい。甲子～南会津～田子
倉、約一ヶ月の間山々移りゆく紅葉を楽し
む事ができた。

昨年一度は眺めているものの、今年は土地に
馴染んだためか、それとも木々の種類の違いか、
美しさを競っている山々が実に個性豊かに思え
た。ここでは見るのではなく、紅葉の中で暮ら
している。

畑で「^{どりのこ}急げ、もう冬だ」とばかりに、せっせ
と穫残しの野菜を集めている猿たちまでが美し
い風景を創っている。

仕事も休日も通勤
さえも癒され、これ
ほど紅葉を楽しんだ
のは初めて。

昨年この冬を初
体験した。雪をイメー



ジ出来ても実際はすごい。町の人たちが難なく
生活している姿もすごい。

以前は邪魔な雪としか思わなかったが、ここ
で雪の美しさを初めて知った。

山形蔵王でしか見たこと無かったダイヤモンド
ダストを早朝通勤で見、また雪の夜景はとて
も幻想的だった。そして春になると、この深い
山々の雪が美しい川になる。

この清々しい自然を背景に、昔より連綿と清
い水を引き緑の水田を営む風景は格別。

子供の頃は見慣れた風景だったが、どれほど
の農家の苦労があったかとしみじみ思う。

今は担い手不足や高齢化で農地や水路を守る
のが難しい。けれど、今もしっかり頑張ってい
る人々がいて美しい風景を創っている。

今の貿易自由化の大波からもこの自然と農業
の調和した美しい風景を守りたい。

私も近所の猿たちに負けぬよう頑張りたい。

農村整備部副部長兼管理課長 山内冬彦

農林事務所からお知らせ

福島県狩猟免許のご案内！

平成23年2月20日に郡山市労働福
社会館で「福島県狩猟免許試験」が
実施されます。

鳥獣害対策の一手法として、資格取得し
てはいかがでしょうか。狩猟免許は次の4
種類です。

- ①網猟免許
- ②わな猟免許
- ③第一種銃猟免許(「装薬銃」)
- ④第二種銃猟免許(「空気銃」、「圧縮ガス銃」)

受験受付は1月21日までとなっております。詳細は、南会津地方振興局 県民環境
課(電話0241-62-2061)まで
お問い合わせください。

(農業振興普及部)

あなたも認定農業者になりませんか？

平成22年12月1日～平成23年
2月28日は「福島県認定農業者
育成確保強化月間」です。



認定農業者とは、地域農業の担い手とし
て町から「農業経営改善計画」の認定を受けた農業経
営者、農業生産法人をいいます。認定を受けると

- ①農地のあっせんや経営に関する助言を受けるこ
とができます。
- ②国や県等の事業(補助事業等)を活用するこ
とができます。
- ③無利子又は低金利で資金を借り受けることが
できます(スーパーL資金等)。
- ④農業者年金に加入すると保険料の国庫補助が
あります。

詳しくは、各町担当課または農業振興普及部(電
話0241-62-5262)までお問い合わせく
ださい。(農業振興普及部)



お問い合わせはこちら

福島県南会津農林事務所 企画部 地域農林企画課

〒967-0004 福島県南会津郡南会津町田島字根小屋甲4277-1

電話 0241-62-5252 FAX0241-62-5256

電子メール minamiaizu.nourin@pref.fukushima.jp

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/norin-minamiaidu/>

南会津農林

検索

バックナンバーはこちらから

みんなが主役。「絆」がつくる



“ごちそう ふくしま”

みなさんのご意見・ご感想を
お寄せください。



この広報誌は
SOY(大豆油)インキを
使用しています。